

岡崎むかし館企画展

暮らしの道具 ~今と昔~ ①

米作りにかかわった道具たち

平成21年6月18日(木)~10月6日(火)

午前9時~午後9時 **入場無料**

※休館日は図書館交流プラザと同様毎週水曜日(水曜日祝日の場合は開館)

お米は、日本人の生活と切り離すことのできない食べものです。

米作りは今から約2,500年前、大陸から西日本に伝わったと考えられています。稲作が広がり、米作りを中心に「村」が作られるようになると、米の生産量はますます増え、さまざまな農具が作られるようになります。

また、鉄製農具の登場により耕作地が広がると、大きな村が形成され、やがてその村が統合して「国」が生まれました。お米は単に食糧というだけでなく、日本の社会の発展に欠かすことのできない存在です。

今回の展示では、古くからの道具や米作りに関わる地域伝統の祭りについて、実物や写真で紹介します。お米がどれほど大事に扱われ、作られているのか、日本人が昔からお米に込めてきた願いをご覧ください。



夏休み体験講座「見て触れて感じよう、むかしの生活」

岡崎むかし館の回転ステージ上にあるむかしの道具を実際に触ったり、使ってみることで、むかしの生活を体験的に学べる講座です。期間中、小中学生向けに、夏休みの社会科自由研究の相談にも応じます。

8月2日(日)~8日(土) ※5日(水)は休館

11:00~13:00 (前半講座、後半相談会) **入場無料**

講師 野本 欽也 (岡崎むかし館主任専門員)

場所 岡崎むかし館及び1階会議室103号室

ふるさと講座「日本人にとってのお米とは」

8月20日(木) 10:30~12:00 **入場無料**

講師 野本 欽也 (岡崎むかし館主任専門員)

場所 1階会議室103号室

定員 60名 (当日10:00より入場整理券配布)

期間中の催し

libra 岡崎市図書館交流プラザ

主催 岡崎市・岡崎市教育委員会

協力 岡崎市郷土館

お問合せ 岡崎市図書館交流プラザ 岡崎むかし館
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地 TEL 0564-23-3100
HPアドレス <http://www.libra.okazaki.aichi.jp>

